

戦争の記憶をさかのぼる

アジア太平洋戦争の記憶が、日本の戦後の言説の中でどのように語られてきたのかを、新聞や雑誌等のメディアや文学作品・証言等の記録を読みながら検証し、議論する。

Index

I. 用語を確認しよう

専門的な著作を読む前に、辞書・事典などを利用して、ことばの意味を確認してみましょう。

II. 図書を探そう

関係する図書を探してみましょう。図書の検索では、キーワードを広げたり、絞り込みを行ったり、実際に図書を手にしてキーワードを再検討したり、軌道修正しつつ進めることが大切です。

III. 新聞記事を探そう

新聞には、社会の動きを反映した最新情報が掲載されています。過去の新聞記事からは、その時代の動きを遡って確認することができます。

IV. 雑誌論文を探そう

学術雑誌には、研究者の研究成果が論文としてまとめられています。また、一般雑誌の記事が参考になることもあるでしょう。おもだった雑誌などで、“戦争”がどういった形で取り上げられているかを調べてみましょう。

V. 時代別参考文献:2005年(戦後60年)を中心として

ここからの時代別参考文献では、今日から戦中までの各時代に掲載された参考資料を、授業の形態に合わせて10年ごとに区切って紹介します。坪井先生の著作『戦争の記憶をさかのぼる』の中で取りあげられている文献も合わせて掲載します。

VI. 時代別参考文献:1995年(戦後50年)を中心として

戦後50年という区切りにあたって、多くの書籍や雑誌記事が発刊されました。

VII. 時代別参考文献:1985年(戦後40年)を中心として

VIII. 時代別参考文献:1975年(戦後30年)を中心として

IX. 時代別参考文献:1965年(戦後20年)を中心として

X. 時代別参考文献:1955年(戦後10年)を中心として

XI. 時代別参考文献:1945年(戦中～終戦)を中心として

XII. 実際にやってみよう!

学内で資料を探だけでなく、近隣の図書館や関連する機関を訪問してみるのもお勧めです。

XIII. レポート・発表の準備をしよう

基礎セミナーでは、少人数での討論、レポートの作成方法、プレゼンテーションの基礎などを学びます。ここでは、そういったアカデミック・スキルを身につけるために有用な参考文献を紹介します。

科目名: 基礎セミナーA

担当教員: 坪井 秀人

キーワード

日本文学

アジア太平洋戦争

戦争と文学

1.用語を確認しよう

専門的な著作を読む前に、辞書・事典などを利用して、ことばの意味を確認してみましょう。

(一例)

- **Japan Knowledge**を用いてオンラインで百科事典や現代用語事典などが調べられます。

辞書や事典をひいてみましょう。

- 戦争についての図書や雑誌記事はたくさんありますが、まずは辞書や事典で言葉の定義を確認することも大切です。

ために、「太平洋戦争」という言葉を調べてみましょう。



インターネット・DB

タイトル Japan Knowledge+

リンク先 URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html

ひとこと紹介 「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」「imidas」「Encyclopedia of Japan」ほか英和・和英辞典等をオンラインで検索できます。同時アクセス数は4。使い終わったら必ず[ログアウト]してください。

2. 図書を探そう

関係する図書を探してみましょう。図書の検索では、キーワードを広げたり、絞り込みを行ったり、実際に図書を手にしてキーワードを再検討したり、軌道修正しつつ進めることが大切です。

<OPACで図書を探そう>

オンライン目録(OPAC)で、名古屋大学の蔵書を調べることができます。

opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac

「キーワード」を入力して検索してみましょう。

良さそうな図書がヒットしたら、その図書の情報の下の方、「分類」や「件名」のところをクリックすると、類似した内容の図書を検索してくれます。

調べ方がわからない時は、ガイドシートリスト(OPACやデータベースの使い方)があります。

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html>

<ブラウジングで基礎的な図書を探そう>

良さそうな図書が見つかったら、直接、図書館の棚に行って、見てみましょう。その図書の近くには関連する図書がありますので、周囲も眺めてみましょう(ブラウジング)。

図書は分類番号の順番で並んでいます。同じ分類番号でも、学習用図書と研究用図書では置いてあるフロアが異なります。

附属図書館の利用案内を見れば、分類表や中央図書館の資料配置が分かります。

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/index.html>

中央図書館で使っている分類は、日本十進分類法によっています。

この授業では、現在から戦中・戦後までの各時代の、文学者やメディアの言説をさかのぼって見ていきます。

関連する分類番号の一部を以下に示してありますので参考にご覧ください。

たとえば、日本におけるアジア太平洋戦争の歴史は、分類番号**210.7**-日本史(昭和以降)に収められています。

分類番号	分野
210.7	日本史(1927-)
210.75	日本史 太平洋戦争(1941-45)
209.74	世界史 第2次世界大戦(1939-1945)
391	戦争. 戦略. 戦術
392.1	日本の国防史・事情
910	日本文学

上記は分類表のほんの一部です。

ひとつの図書で、複数のテーマを扱ってあれば、別の分類がされているかもしれません。
OPACのキーワード検索と書架のブラウジングを繰り返しながら資料を探してみましょう！

<国内で刊行されている図書を探そう>

Webcat Plus

全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースを、日本語の図書の内容・目次データから検索できます。「連想検索」システムで、検索ごとに関連ワードが表示され、検索枠を広げていくことが出来ます。(http://webcatplus.nii.ac.jp/)

NDL-OPAC

国立国会図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。(http://opac.ndl.go.jp/)

愛蔵くん(愛知県内図書館 横断検索)

愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。大学図書館よりも、より平易な一般書の所蔵が多くなっています。(http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm)

名古屋大学で所蔵していない図書は、取り寄せて借りることもできます。
所属別申込先一覧をご覧ください。(公共図書館の場合は中央図書館へ。)
http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html

<入門的な図書を読もう>

入門書としては、文庫、新書といわれる小型本がお勧めです。中央図書館には、3Fの学習用図書コーナーの一角に、文庫コーナー、新書コーナーがあります。

新書コーナーの、分類番号210(日本史)にも、関連する図書が収められています。

うまく図書が見つかったら、その図書の章末や巻末に掲載されている参考文献などから、更に関連図書を探してみましょう(チェイニング(芋づる式探索))。



図書(の章節)

タイトル 戦争の記憶をさかのぼる

著者名 坪井秀人|著, 坪井|秀人(1959-)

ひとこと紹介 太平洋戦争以後、メディアが戦争をどう捉えてきたかを考察することで、日本人の戦争に対する意識の変容を明らかにします。戦中～戦後の文学・メディアを通して、太平洋戦争を追体験し、あらためて平和を希求するきっかけをつかんでください。



図書(の章節)

タイトル 戦後日本の大衆文化史：1945～1980年

著者名 鶴見俊輔|著, 鶴見|俊輔(1922-)

ひとこと紹介 中央学3F 新書コーナー 210.76||Tu にあります。

3. 新聞記事を探そう

新聞には、社会の動きを反映した最新情報が掲載されています。過去の新聞記事からは、その時代の動きを遡って確認することができます。

この授業では、戦後60年、50年...とさかのぼって、メディアが戦争をどう取りあげてきたかを考察しますので、過去の新聞記事の事前調査は欠かせません。

名古屋大学では、プリント版の新聞と、以下のような電子版の新聞とを所蔵しています。

聞蔵IIヴィジュアル(朝日新聞) (学内限定)

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#KIKUZO2>

日経テレコン21(日経限定メニュー版) (学内限定)

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#NK21>

中日新聞・東京新聞記事データベース(学内限定)

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#CHU>

ProQuest Newspapers (学内限定)

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbproq.html#newspapers>

「The New York Times」など、400紙以上の全文を探すことができます。

- これらの新聞データベースは、学内の**LAN**につながっている**PC**であれば、附属図書館のサイトのデータベースのページから入ることが出来ます。読むだけでなく、記事の検索も可能ですので是非活用してください。
- プリント版の新聞は、中央図書館**B1**階の新聞バックナンバーコーナーに配置されています。縮小して印刷し製本した「縮刷版」といわれるものを、手にとって見ていただくことができ、必要な箇所を複写することができます。

4. 雑誌論文を探そう

学術雑誌には、研究者の研究成果が論文としてまとめられています。また、一般雑誌の記事が参考になることもあるでしょう。おもだった雑誌などで、“戦争”がどういった形で取り上げられているかを調べてみましょう。

< 雑誌記事データベースを使ってみよう >

名古屋大学では、学術雑誌、一般雑誌ともに、雑誌記事検索のできるデータベースを利用することができます。データベースごとに利用規程が異なります。詳しくはデータベース案内をご覧ください。



インターネット・DB

タイトル CiNii Articles (サイニイ) (一部の本文は学内限定)

著者名 国立情報学研究所

リンク先
URL <http://ci.nii.ac.jp/>

ひとつこと紹介 国内で刊行された雑誌記事を探することができます(主に学術雑誌・大学紀要・学会誌)。一部の雑誌については、論文全文をダウンロードし閲覧することができます。NULinkが利用できます。



インターネット・DB

タイトル 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索 Web版 (学内限定)

リンク先
URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbjapanese.html#oya>

ひとつこと紹介 豊富な内容とユニークな切り口で知られる、雑誌専門図書館・大宅壮一文庫の雑誌記事索引のWeb版です。週刊誌、総合月刊誌、女性誌など現代ジャーナリズムの最先端をいく「マガジン」の記事情報が検索できます。1988年以降最新まで、約400誌から採録。学内限定で、同時アクセス数は1名です。



インターネット・DB

タイトル 雑誌記事索引集成データベース

著者名 皓星社

リンク先
URL <http://zassaku-plus.com/>

ひとつこと紹介 明治初期から現在まで、総合雑誌から地方誌までの記事検索ができます。学内限定で、同時アクセス1名です。

見つかった雑誌を名古屋大学で所蔵していない場合は、コピーを取り寄せることもできます。所属別申込先一覧をご覧ください。(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html>)

調べ方がわからない時は、図書館サイト「論文を探す」をご覧ください。(http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide_c/guide/search/4.html)

< 冊子体の雑誌を探そう >

過去の雑誌記事を調べるには、雑誌のバックナンバーを探す必要があります。中央図書館では、新着雑誌は2F,3F

に展示されますが、1年ほど経過すると、バックナンバーは製本後B1階に配置換えされます。参考:中央館雑誌配架図

OPACで検索するとき、「資料種別」=「雑誌」にチェックを入れると、雑誌だけを検索することができます。また、図書館のトップページから、受入雑誌目録を参照することもできます。

読みたい雑誌記事が、どの雑誌に掲載されているのかわからないときは、上記の雑誌記事索引(データベース)を使うのが便利です。

5.時代別参考文献:2005年(戦後60年)を中心として

ここからの時代別参考文献では、今日から戦中までの各時代に出版された参考資料を、授業の形態に合わせて10年ごとに区切って紹介します。坪井先生の著作『戦争の記憶をさかのぼる』の中で取りあげられている文献も合わせて掲載します。



図書(の章節)

タイトル 20世紀の戦争とは何であったか
著者名 木畑洋一編, 木畑洋一(1946-), 後藤道夫(1947-), 渡辺治(1947-)
ひとこと紹介 中央学3F 209.8||W||2 ほかにあり。



図書(の章節)

タイトル 敗戦後論
著者名 加藤典洋著, 加藤典洋(1948-)
ひとこと紹介 初版(1997刊)が中央学3F 914.6||Ka および
情報・言語図書室 にあります。



図書(の章節)

タイトル それでも、日本人は「戦争」を選んだ
著者名 加藤陽子 著, 加藤 陽子(1960-)



図書(の章節)

タイトル 湾岸戦争は起こらなかった
著者名 ジャン・ボードリヤール[著], 塚原史訳, Baudrillard, Jean(1929-2007), 塚原史(1949-)
ひとこと紹介 1991年刊の復刊版
情報・言語 319.28||B にあります。



図書(の章節)

タイトル 9・11以後の監視：〈監視社会〉と〈自由〉
著者名 デイヴィッド・ライアン 著, 田島泰彦 監修, 清水知子 訳, Lyon, David(1948-), 田島泰彦(1952-), 清水 知子(1970-)
ひとこと紹介 中央学3F 316.1||L 11485524



図書(の章節)

タイトル 「テロル」と戦争：〈現実界〉の砂漠へようこそ
著者名 スラヴォイ・ジジェク著, 長原豊訳, Zizek, Slavoj(1949-), 長原豊(1952-)
ひとこと紹介 中央学3F 139.3||G にあります。



図書(の章節)

タイトル 空から恥が降る
著者名 藤原新也著, 藤原新也(1944-)



図書(の章節)

タイトル ベルリンウォール
著者名 土田ヒロミ著, 土田ヒロミ(1939-)
ひとこと紹介 中央学3F 748||Tu||大型本書架にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦争とマンガ
著者名 櫻本富雄著, 桜本富雄(1933-)
ひとこと紹介 中央学3F 726.1||Sa にあります。

6.時代別参考文献:1995年(戦後50年)を中心として

戦後50年という区切りにあたって、多くの書籍や雑誌記事が発刊されました。



図書(の章節)

タイトル 日本人の戦争観：戦後史のなかの変容
著者名 吉田裕¹著, 吉田¹裕(1954-)
ひとこと紹介 中央学3F 210.7||Y にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後50年日本人の発言. 上,下
著者名 文芸春秋¹編, 文芸春秋
ひとこと紹介 教育学図書室 和書210.76||Bun にあります。



図書(の章節)

タイトル ヒロシマ・コレクション：広島平和記念資料館蔵
著者名 土田ヒロミ¹撮影, 土田¹ヒロミ(1939-)
ひとこと紹介 原爆投下によって封じ込められた「時」と移り変わる現在との二重構造を内包した静謐なモノクロ・プリント群。
中央学3F 210.75||Tu にあります。



図書(の章節)

タイトル 「日本文化論」の変容：戦後日本の文化とアイデンティティー
著者名 青木保¹著, 青木¹保(1938-)
ひとこと紹介 中央学3F 361.5||A にあります。



図書(の章節)

タイトル 歴史からの警告：戦後五十年の日本と世界
著者名 林健太郎¹著, 林¹健太郎(1913-2004)
ひとこと紹介 中央学3F 204/H にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後が戦後でなくなる時
著者名 大沢正道¹著, 大沢¹正道(1927-)
ひとこと紹介 中央学3F 319.04/O にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦争とプロパガンダ
著者名 エドワード・W. サイド¹[著], 中野真紀子, 早尾貴紀¹共訳, Said, Edward W(1935-2003), 中野¹真紀子(1955-), 早尾¹貴紀(1973-)

ひとこと紹介 中央学3F 316.4/Sa にあります。続巻あり。
2.パレスチナは、いま
3.イスラエル、イラク、アメリカ
4.裏切られた民主主義



図書(の章節)

タイトル ふるさと文学館. 第11巻
著者名 木原直彦〔ほか〕編, 木原直彦(1930-), 福島行一(1931-)
ひとこと紹介 内容:群馬 / 福島行一責任編集(国定忠治の墓 / 萩原朔太郎ほか73編)
情報・言語 918.6/H にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後写真史ノート: 写真は何を表現してきたか
著者名 飯沢耕太郎著, 飯沢耕太郎(1954-)
ひとこと紹介 中公新書
中央学S(3F新書コーナー) 740.21/I にあります。

7.時代別参考文献:1985年(戦後40年)を中心として



図書(の章節)

タイトル 「反核」異論
著者名 吉本隆明^I著, 吉本^I隆明(1924-)
ひとこと紹介 中央学3F 319.8/Y にあります。



図書(の章節)

タイトル 表層批評宣言
著者名 蓮実重彦^I著, 蓮実^I重彦(1936-)
ひとこと紹介 中央学3F 914.6/H にあります。



図書(の章節)

タイトル 都市の復興: 広島被爆40年史
著者名 広島都市生活研究会^I編, 広島都市生活研究会
ひとこと紹介 中央図1F 518.8/H にあります。



図書(の章節)

タイトル 靖国神社: 1869-1945-1985
著者名 村上重良^I[著], 村上^I重良(1928-1991)
ひとこと紹介 教育和書 175.936/Mur
法 090.5/M931 にあります。



図書(の章節)

タイトル 教科書に書かれなかった戦争. part 5
著者名 西川重則(1927-)
ひとこと紹介 中央学3F 210.75/Ky にあります。
シリーズ「教科書に書かれなかった戦争」の第5巻
Pt.5のタイトルは『天皇の神社「靖国」』



図書(の章節)

タイトル 軍隊慰安婦: 戦争と人間の記録
著者名 金一勉^I編著, 金^I一勉(1921-)
ひとこと紹介 中央学3F 915.9/Ki にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後を読む
著者名 安田武^I著, 安田^I武(1922-1986)
ひとこと紹介 中央学3F 019/Y にあります。



図書(の章節)

タイトル ある文芸記者の回想：戦中戦後の作家たち
著者名 頼尊清隆Ⅰ著, 頼尊 清隆(1915-)
ひとこと紹介 中央学3F 910.26/Y にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後文学論争史論
著者名 佐藤静夫Ⅰ著, 佐藤Ⅰ静夫(1919-)
ひとこと紹介 中央学3F 910.26/Sa にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後文学の道程
著者名 武田友寿Ⅰ著, 武田Ⅰ友寿(1931-1991)
ひとこと紹介 中央学3F 910.26/Ta にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後日本映画小史
著者名 瓜生忠夫Ⅰ著, 瓜生Ⅰ忠夫(1915-1983)
ひとこと紹介 中央学3F 778.21/U にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦争と文学者：現代文学の根底を問う
著者名 西田勝Ⅰ編, 西田Ⅰ勝(1928-)
ひとこと紹介 中央学3F 910.26/Se にあります。

8.時代別参考文献:1975年(戦後30年)を中心として



図書(の章節)

タイトル 戦後民主主義
著者名 久野収I著, 久野収(1910-1999)
ひとこと紹介 中央学3F 363.1/Ku にあります。



図書(の章節)

タイトル 詩人と権力:戦後民主主義詩論争史
著者名 浅尾忠男I著, 浅尾I忠男(1932-)
ひとこと紹介 中央学S(新書コーナー) 911.52/A にあります。



図書(の章節)

タイトル 無名兵士の詩集:戦陣の中の反戦詩
著者名 高崎隆治I編, 高崎I隆治(1925-)
ひとこと紹介 中央学3F 916/Mu にあります。



図書(の章節)

タイトル 学徒出陣の記録:あるグループの戦争体験
著者名 東大十八史会I編, 東大十八史会
ひとこと紹介 中央学S(新書コーナー) 916.6/To にあります。



図書(の章節)

タイトル ある高校教師の戦後史
著者名 藤原治I著, 藤原I治(1908-1992)
ひとこと紹介 中央学S(新書コーナー) 372.173/H にあります。



図書(の章節)

タイトル ある警察官の記録:戦中・戦後30年
著者名 大橋秀雄I著, 大橋I秀雄(1903-)
ひとこと紹介 中央図1F 327.7/O にあります。



図書(の章節)

タイトル 原爆体験記
著者名 広島市原爆体験記刊行会I編
ひとこと紹介 中央学3F 916/H ほかにあります。



図書(の章節)

タイトル 沖縄の証言：庶民が語る戦争体験. 上,下
著者名 名嘉正八郎, 谷川健一編, 名嘉正八郎(1933-), 谷川健一(1921-)
ひとこと紹介 中央学S 219.9/N にあります。



図書(の章節)

タイトル 沖縄の証言：激動25年誌. 上,下
著者名 沖縄タイムス社
ひとこと紹介 中央学3F 219.9/O にあります。



図書(の章節)

タイトル 作家の体験と創造：大岡昇平対談集
著者名 大岡昇平著, 大岡昇平(1909-1988)
ひとこと紹介 中央学3F 910.26/O にあります。

9.時代別参考文献:1965年(戦後20年)を中心として



図書(の章節)

タイトル 朝鮮人強制連行の記録
著者名 朴慶植 著, 朴 慶植(1922-1998)
ひとこと紹介 中央学3F 316.821/B にあります。



図書(の章節)

タイトル 主婦の戦争体験記:この声を子らに
著者名 いずみの会「戦争体験記」編集委員会編, いずみの会
ひとこと紹介 教育和書 916/Izu にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦没農民兵士の手紙
著者名 岩手県農村文化懇談会編, 岩手県農村文化懇談会
ひとこと紹介 中央学S(新書コーナー) 915.6/I
情報・言語図書室 916.6/I/新書 にあります。



図書(の章節)

タイトル 戦後文学の回想
著者名 中村真一郎著, 中村真一郎(1918-1997)
ひとこと紹介 中央学3F 910.26/N にあります。



図書(の章節)

タイトル 混乱から成長へ
著者名 東京12チャンネル報道部編
ひとこと紹介 中央図4F 210.7/Sy にあります。

10.時代別参考文献:1955年(戦後10年)を中心として



図書(の章節)

タイトル 庶民の戦後：1945-51年戦後大衆雑誌にみる. 生活編
著者名 山岡明^I著, 山岡明^I(1920-)
ひとこと紹介 教育和書 210.76/Yam にあります。
風俗編もあります。



図書(の章節)

タイトル 共産主義批判の常識
著者名 小泉信三^I著, 小泉信三^I(1888-1966)
ひとこと紹介 法学図書室、経済学部図書室にあります。



図書(の章節)

タイトル 愛情はふる星のごとく：獄中通信
著者名 尾崎秀實 著, 尾崎英子 編註
ひとこと紹介 中央図4F 914.6/O にあります。



図書(の章節)

タイトル 原水爆禁止運動の成立：戦後日本平和運動の原像 1954-1955
著者名 藤原修^I著, 藤原修^I(1959-)
ひとこと紹介 中央図4F 319.8/H/飯島コーナー
法学図書室 にあります。



図書(の章節)

タイトル 鮎川信夫全集. 第4巻
著者名 鮎川信夫^I著, 三好豊一郎, 吉本隆明, 大岡信^I監修, 鮎川信夫(1920-1986), 三好豊一郎(1920-1992), 吉本隆明(1924-), 大岡信(1931-)
ひとこと紹介 『死の灰詩集』に代表される戦後詩の問題点を批判。
中央学3F 918.6/A/4 にあります。

11.時代別参考文献:1945年(戦中～終戦)を中心として



図書(の章節)

タイトル 日米最後の戦闘：沖縄戦死闘の90日
 著者名 米国陸軍省編，外間正四郎訳，外間正四郎(1927-)，アメリカ合衆国陸軍省
 ひとこと紹介 中央学3F 393.2/A にあります。



図書(の章節)

タイトル 高村光太郎全集
 著者名 高村光太郎(1883-1956)
 ひとこと紹介 "詩の言葉によって戦争に主体的積極的に参加した意味において、高村光太郎以上の存在はないだろう"(坪井秀人, 2005)
 中央学3F 918.6/Ta にあります。



図書(の章節)

タイトル 都民の空襲体験記録集
 著者名 『東京大空襲・戦災誌』編集委員会編集
 中央学3F 210.75/To ほかにあります。
 2巻セット
 ひとこと紹介 1:3月10日篇
 2:初空襲から8.15まで



図書(の章節)

タイトル 神々のあけぼの：大東亜戦争頌詩集
 著者名 大木惇夫著，大木惇夫(1895-1977)
 ひとこと紹介 中央図4F 911.56/O にあります。



図書(の章節)

タイトル 日本文化の構想と現実
 著者名 三枝博音編，三枝博音(1892-1963)
 ひとこと紹介 中央図4F 210.1/Sa にあります。



図書(の章節)

タイトル 大東亜戦争海軍戦記. 第4輯
 著者名 大本営海軍報道部編纂，大本営
 ひとこと紹介 中央図1F 391.2/D にあります。

12. 実際に行ってみよう！

学内で資料を探だけでなく、近隣の図書館や関連する機関を訪問してみるのもお勧めです。

愛知県内の公立図書館へのリンク 公共図書館は大学図書館とは蔵書構成が異なるので、ぜひ公共図書館でも資料探索を試みてください。

戦争と平和の資料館ピースあいち 2007年開館の愛知県唯一の戦争資料館。名古屋大学からほど近い名東区にあるので、気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。戦時中の地方新聞など貴重な資料も所蔵しています。

13. レポート・発表の準備をしよう

基礎セミナーでは、少人数での討論、レポートの作成方法、プレゼンテーションの基礎などを学びます。ここでは、そういったアカデミック・スキルを身につけるために有用な参考文献を紹介します。

< 研究・発表に関する図書 >

初めて論文やプレゼンテーションで研究を発表する前に、基本的な進め方やルールを確認してみましょう。

ほかにも関連図書がたくさんあります。中央図書館や学部・学科等の図書室で、以下の請求記号の周辺を見てください。

請求記号	分類	内容例
002.7	研究法、調査法	研究の進め方全般、情報の集め方、プレゼンテーション方法
377.15	高等教育 教育課程、講座、教育理論・教授法	大学での学び、教育、授業
816.5	論文	レポート・論文の書き方、論文作法

タイトル アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門

著者名 佐藤望^I編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦^I[著]

大学における「問い」の発見、文献の探し方・読み方、情報の整理の仕方、文章・プレゼンテーションでの発表の仕方などをコンパクトに解説。



ひとこと 中央学3F 377.15||Sa

紹介 教育和書 377.15||Sat
農学生図書 377.15||Sa
等に 있습니다。

タイトル 自己表現力の教室：大学で教える「話し方」「書き方」

著者名 荒木晶子, 向後千春, 筒井洋一^I著

会話・スピーチ・研究発表などでの「話し方」、文章の「書き方」の基本と実践を、見開きの記事でわかりやすくまとめています。



ひとこと 中央参(ライティング関連図書) 809.4||A

紹介 情報・言語 809.2||A
に 있습니다。

タイトル 知へのステップ：大学生からのスタディ・スキルズ

著者名 学習技術研究会^I編著

ひとこと ノートの取り方、テキストの読み方、文献の探し方、レポートのまとめ方、ワープロソフトの使い方などを解説。



紹介 ソフトの操作など具体的で実践的なアドバイスが多数。
中央参(ライティング関連図書)002.7||Gに 있습니다。



図書(の章節)

- タイトル 論文の教室：レポートから卒論まで
著者名 戸田山和久Ⅰ著
情報科学研究科戸田山教授によるレポート執筆指南書。
ひとこと紹介 名大の授業で参考書として紹介されることも多い、読みやすい解説書です。
中央学3F 816.5ⅠⅠTほか学内に多数所蔵があります。

<論文・発表に関するビデオ教材>

ビデオ・DVDなど映像で学ぶことのできる教材もあります。

中央図書館での視聴覚資料の利用について: http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide_c/guide/service/read.html



視聴覚資料

- タイトル 情報の達人. 第2巻 ゼミ発表をしよう！テーマ選びからプレゼンテーションまで
著者名 仁上幸治, 野末俊比古Ⅰ監修
ひとこと紹介 中央AV D-146
にあります。



視聴覚資料

- タイトル 情報の達人. 第3巻 レポート・論文を書こう！誰にでも書ける10のステップ
著者名 仁上幸治, 野末俊比古Ⅰ監修
ひとこと紹介 中央AV D-147
にあります。